

目的:

高等学校段階の病気療養中等の生徒に対する教育支援を充実させるため、高等学校、特別支援学校及び病院との連携による支援体制を強化するとともに、ICTを活用した遠隔教育や退院時の情報共有等の効果的な実施に向け、調査研究を行う。

取組の中で、自治医科大学附属病院及び獨協医科大学病院(以下「2つの大学病院」という)に入院する生徒に対しては、学習支援員を活用し、一人一人の状況に応じた支援を推進し具体的事例を蓄積し、その成果を県内の他の病院や他都道府県の病院に入院する生徒への支援に広げていくことを目的とする。

<取組1>

病気療養中等の生徒の教育機会や復学支援に関する実態調査の実施

県内のがん診療連携拠点病院等の協力を得て、入院中の生徒の学習支援や退院時の高等学校との情報共有等の支援に関して実態調査を行う。

【対象:県内がん診療連携拠点病院等9病院】

<取組2>

2つの大学病院に入院する生徒へのICTを活用した遠隔教育の充実

指定校である2校の特別支援学校分教室にそれぞれ学習支援員を配置し、高等学校及び病院との連携により、一人一人の状況等に応じた効果的な遠隔教育を一層推進する。

<取組3>

2つの大学病院以外の病院に入院する生徒や自宅療養中の生徒へのICTを活用した遠隔教育の充実

2つの大学病院以外の病院においては、特別支援学校分教室の学習支援員による直接的なかわりがないことから、高等学校が主体的に保護者と連携を図りながら病院と連絡をとり、教育支援を行う。

